

国

語

(解答番号)

1

}

36

(

国 語

試験時間60分

〔注 意〕

- この問題冊子は指示があるまで開いてはいけない。
- 受験番号が正しく記入・マークされていない場合は0点となる。
- 解答はすべて解答用紙の所定欄にマークすること。例えば、問題文中に

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように **解答番号10の解答記入欄の③**にマークすること。正しくマークされていない場合は採点できないことがある。

(例)

解答番号	解答記入欄 (マーク)									
10	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 問題冊子の各ページの余白は自由に使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 試験終了後、解答用紙は通路側に置くこと。なお、問題冊子は持ち帰ること。

〈マーク式についての注意〉

- 機械が読み取って採点するので、折り曲げたり汚したりしないこと。
- マークはHBの鉛筆で枠の中を濃く塗りつぶすこと。
- 1つのマーク欄には1つしかマークしないこと。
- 訂正はプラスチック消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除くこと。
- 所定欄以外には何も書かないこと。

問題 1 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

人は、自らのアイデンティティを管理し存在証明に努める能動的な主体である。だがそれは、社会的評価や処遇とは一切無関係に、独力でアイデンティティを獲得できるという意味においては、アイデンティティは自給できない。それは、他者と自分との相互作用のさなかに生成する、はかなく不安定なものである。だから、人は自らのアイデンティティを管理するために、他者に働きかけて、他者の自分に対する評価や処遇を制御し続けなければならない。

しかし、^(a)「価値糾奪を被った人びと」——^(b)「ステイグマを押しされた人びと」と呼ぼう——のアイデンティティの政治は、制度化された逸脱の定義の維持・強化に努める人びとの利害と真つ向から対立する。アイデンティティの政治は、ステイグマを押しされた人びとにとってのみ存在証明の場となるのではない。彼らから価値を奪いステイグマを押し当てようとする人びとは、自分たちの価値を証明するために「逸脱者」を必要としている。

「人は道徳的『自己像』を削り上げようと望む限り、自分の道徳性を引き上げ、他者の道徳性を引き下げる熾烈な争いに必然的に関与してしまふ」(Douglas, 1970: 11)

ステイグマを押しされた人びとのアイデンティティの政治は、価値の取り戻しをめざして社会の支配的な逸脱の定義に挑戦する。どのような条件のもとで、「逸脱者」は印象操作や補償努力ではなく価値の取り戻しをめざして動き出すのか。

マンカー・オルソンは、結束して集合行為を起せば集合的利益が得られることが確実な場合でも、参加を強いる強い圧力や参加者にだけ与えられる特別な報酬がない限り、人びとは^(c)「参加コスト」を惜しんで「ただ乗り」を決め込むため、彼らに利益をもたらすはずの集合行為は不発に終わる、と主張した。

たしかに、集合財の供給はたやすい作業ではない。貢献せずとも集合財は享受できるからこそ、ただ乗り志向はいつでも存在する。このただ乗り志向は、運動への一個人の貢献などは微々たるものにすぎないという気分が集合体を満たしているときに、とりわけ強化される。このようなときには、人は自己の無力を痛感しつつ、あるいはそのことにいながら、ただ乗

りを決め込む。それだけではない。このような場合には、人は強制力を恐れ、あるいは選択的誘因につられ、自己が属する集団の利益に反する活動に協力さえてしまう。つまり、オルソンが提起するいわゆるただ乗り問題は、自己が属する集合体の利益——自分の利益でもある——に反する活動に、心ならずも、あるいは平気で加担する「裏切り」問題でもあるということである。

イ

とはいえ、もちろんオルソンの集合行為の論理には多くの批判が寄せられた。またオルソンの論理を受け入れたうえで、

^(c)「集合行為の条件」をあきらかにしようとすると試みも提案された。オルソンが市場モデルに⁽¹⁾「ジュンキョ」して、繋がりや交渉を持たないバラバラな諸個人を前提に論理を組み立てたのに対し、社会運動の研究者の多くは「社会的ネットワーク」の動員機能、連帯機能に注目した。ある者は、緊密な交換と権力の関係網に包含された個人の利害は、^(d)「ネットワーク依存性」と主張した。利害集合体が緊密な交換と権力のネットワークを有する場合は、成員は、ネットワークから放逐され既得便益を失うことや、ネットワークを通して制裁されることを恐れて、ただ乗りを自重し、集合行為に協力する、というのがその論理である。

それでは、オルソンの問題提起は、ステイグマを押しされた人びとのアイデンティティの政治の分析にとってどのような意義をもつのだろうか。確認すべきは、望ましい自己了解としての肯定的アイデンティティは、オルソン流の功利主義的理論枠組の形式に即しているえば、誰もが追求する象徴財だということ、そしてこのアイデンティティという財は、多くの物財同様、私財としてもまた集合財としても供給されるということである。アイデンティティが帯びるこのような性質のために、ステイグマを押しされた人びとは、存在証明の「^(e)私的戦略」と「^(f)集合的戦略」とを、ときに応じて使い分けることができる。人は、印象操作や補償努力などの私的戦略を採用し、評価者の逸脱の定義には挑戦せずに、自己に対する否定的な評価の見直しだけを求めるかもしれない。あるいはまた、価値の取り戻しをめざす社会運動や文化運動のような集合的戦略を選んで、社会に制度化された逸脱の定義そのものの修正を企てるかもしれない。私的戦略で首尾よく常人化を実現した人は、「独り」私財としての肯定的アイデンティティを享受する。また、集合的戦略が成功して、社会的法的、あるいは慣習的な逸脱の定義が変更さ

れば、アイデンティティの政治に参加した人びとは、運動を傍観した者たちや運動の足を引つ張った者たちとともに、集合財としての肯定的アイデンティティを獲得することができる。

私的戦略と集合的戦略のいずれが選ばれるかは、さまざまな条件に依存する。たとえば、印象操作や補償努力を順調に遂行している人にとっては、アイデンティティの政治への参加は首尾一貫しないうえにコスト高となる。ステイグマを隠蔽・補償するためにそれまでに支払ってきた代償を無駄にし、ステイグマを隠蔽・補償することでどうやら確保してきた存在証明を捨てて、あえてアイデンティティの政治という危険な方法に賭ける、という選択は彼にはできない。制度化された逸脱の定義に挑戦する人びとは、従来のステイグマに加えて、「不満分子」とか「過激派」などとレッテル貼りされていままで以上に強い価値剥奪を被る。だから、印象操作や補償努力が有効に作用する間は、ステイグマを押された人びとはミニマックス戦略を採用し、アイデンティティの政治の傍観者となるのが普通である。

これに対して、「保有するステイグマ・シンボルが可視的なために、印象操作が不可能だったり補償努力が実行不可能な場合には、アイデンティティの政治への参加コストは低下する。だがその場合でも、集合体内ネットワークが十分に組織されていないとすれば、ステイグマを押された人びとがアイデンティティの政治に踏み出すのはやはり困難である。ただ乗りや裏切りが、社会的ネットワークからの放逐を招くとしても、そもそもネットワークが一人一人の生活にさほど大きな意味を持たない状況では、法的処罰や失職に代表される参加コストを思えば、ステイグマを押された人びとはアイデンティティの政治には参加しにくい。とりわけ、烙印付与や物理的制裁が強力でしかも斉一的なときには、アイデンティティの政治は沈黙を²ヨギなくされる。

社会的非難と制度的な機会の剥奪が厳しいこのようなときには、個人的な努力でステイグマを補う道はほとんど閉ざされているだろうが、さりとて自明化した強固な社会正義に挑戦することになるアイデンティティの政治が逸脱の定義を修正しうる可能性も非常に小さい。だからこのような場合には、ステイグマ共同体はステイグマからの救済を求めて、下位文化集団という安全地帯の構築に向かう³。コウサンが大きい。社会運動の必要条件であるはずの社会的ネットワークは、強力な烙印付与の

もとでは、ステイグマを押された人びとのカルト的ないしはセクト的文化運動——たとえば新宗教運動やコミュニケーション——に寄与するかもしれない。下位文化が全体社会の慣習的リアリティを無効化し、自己のリアリティに妥当性を与えるようさまざまな仕掛け——人間解放の思想と、それに対応する日常的な儀礼や作法——を発達させるにつれて、それに包含される人びとは、慣習の世界からの烙印付与の影響を物理的および認知的に遮断し、ステイグマを共有する仲間と、それぞれが請求する肯定的アイデンティティを支え合うことになる。

ステイグマ共同体が政治化するためには緊密な社会的ネットワークが必要である。ステイグマ共同体はその内部に濃密な社会的紐帯を組織してはじめて、ロを、アイデンティティの政治に動員することができる。共同体はネットワークを通じて便益や解放イデオロギーを成員に供給し、参加を動機づけ、傍観者となることを抑制する。

(石川准「アイデンティティの政治学」による)

【出典：石川准「アイデンティティの政治学」『差別と共生の社会学』】

問一 傍線部(1)～(3)の片仮名に該当する二つの漢字と同じ漢字を使うものとして最も適切なものを、それぞれ①～④の中から一つずつ選び、マークして答えなさい。

- (1) 1
- ① 作品評価のキジュン
 - ② ジュウジュンな下僕
 - ③ ジュンスイな子ども
 - ④ 行くか戻るかシユンジュンする
- ジュン
- キヨ
- (2) 2
- ① キヨドウ不審
 - ② クウキヨな議論
 - ③ キヨシユウを決する
 - ④ 東京をキヨテンとする

- (2) 3
- ① ヨキン通帳
 - ② ヨジョウ農産物
 - ③ ショヨの条件
 - ④ ヨダンを許さない
- ヨ
- ギ
- (4) 4
- ① ギネンが生じる
 - ② とんだギゼン者
 - ③ 文化祭のモギ店
 - ④ ギョウギのよい子ども

- (3) 5
- ① 権力コウバイ
 - ② コウカク人事
 - ③ コウゼンの秘密
 - ④ 侵略にテイコウする
- コウ
- サン
- (4) 6
- ① サンビ両論
 - ② サンゼンと輝く
 - ③ 石油をサンシユツする
 - ④ 税金をサンニユウする

問二 波線部(a)の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。 7

- ① 多数派によって下げられた自分たちの価値を向上させること
- ② はかなく不安定なアイデンティティを強固で頑丈なものとする
- ③ 自分たちの価値を証明するために、あえて「逸脱者」としてふるまうこと
- ④ 自己が属する集団が肯定的な評価を受けられるよう、政治家に働きかけること
- ⑤ 独力でアイデンティティを獲得できるよう、アイデンティティの定義そのものを書き換えること

問三 波線部(b)の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。 8

- ① 活動への参加を強いる強い圧力
- ② 集団が提示する選択的誘因の享受
- ③ 自己が属する集合体の利益に反する活動
- ④ 社会運動に加わるさいに、払わねばならない犠牲
- ⑤ 運動に参加したものの、貢献できないことで湧き上がる無力感

問八 波線部（g）の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

14

- ① 厳しい非難にさらされること
- ② 低価値の烙印を押されること
- ③ 否定的自己像から目をそむけないこと
- ④ 社会的に劣位にあることが一見してわかること
- ⑤ 私的戦略が途中で挫折したことが明らかであること

問九

空所口に入る最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

15

- ① 印象操作や補償努力の参加コストを出し惜しむ少数派
- ② これまで存在証明の私的戦略に余念のなかった人びと
- ③ オルソン流の功利主義的理論枠組みに挑戦してきた成員
- ④ 「不満分子」や「過激派」などとレッテル貼りされた者たち
- ⑤ 少数派から価値を奪いステイグマを押し当てようとする面々

問十

本文の内容に即した記述として最も適切なものを、次の①～⑧の中から二つ選び、マークして答えなさい。ただし、解の順序は問わない。

16

17

- ① 負の烙印を押された人びとが価値を奪還するのに必要なのは、負の烙印の埋め合わせ作業である。
- ② 人びとは、同胞からの制裁を恐れるあまり、自己が属する集団の利益に反する活動を行うことがある。
- ③ 慣習的な逸脱の定義の修正に尽力した者だけが、集合財としての肯定的アイデンティティを享受できる。
- ④ 運動への一個人の貢献などは微々たるものにすぎないという気分が、かえって個人を発奮させ、運動を組織する。
- ⑤ 社会運動の研究者の多くが、バラバラになった諸個人は、ただ乗りを自重し、集合行為に協力するべきだと述べた。
- ⑥ 少数派に対する全体社会による物理的制裁が激しい場合、かえって少数派の下位文化形成が促される可能性がある。
- ⑦ 制度化された逸脱の定義の維持・強化は、それを目論む人びとの道徳性を引き上げることによってのみ遂行される。
- ⑧ ステイグマ共同体の構成員は、一般に流通するリアリティより当事者のそれに優位性があることを、下位文化を通じて認識することがある。

問題二 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

目のまえには、わが家の花園と呼んでいる小さな庭があります。いまは五月です。ダッチ・アイリスが終わってぼたんのつぼみがふくらんでいる。

これが一つの見方、知的な見方です。

イ、ダッチ・アイリスの葉はみどり、ぼたんの葉もみどり、ダッチ・アイリスの花は青、ぼたんのつぼみはやや赤みをおびている。

これがもう一つの見方、I に見える見方です。

この二つが、ふつうわたしたちの住んでいる世界、理性の世界の見方です。しかし、それ以外にも見方があります。

その一つは、いま見ている花園を、a 存在感と見る見方です。

たとえば、なにか冷たいものがあります。それに指先を当ててみてください。

まぎまぎと冷たいでしょう。

指さきを離してみてください。

いま感じた冷たかったという記憶だけがあるでしょう。この記憶は、さきのじつさに当てたときの感じにくらべると夢まぼろしのようなものでしょう。

さきには、まぎまぎとした実感がありました。この実感を存在感と知っているのです。

自然はたしかにある、としかだれにも見えないようですが、それは、この実感からきているのです。その実感と見る見方があります。

まだあります。これはいままでだれもいっていないと思うのですが、わたしは、これを情緒と見るのです。

それでは情緒と見る見方というのは、どういうことでしょうか。

ロ、すみれの花を見ると、あれはすみれの花だと見るのは理性的、知的な見方です。むらさき色だと見るのは、理性の世界での感覚的な見方です。そして、それはじつさいにあると見るのは実在感として見る見方です。

これらに対して、すみれの花はいいなあと感じるのが情緒です。これが情緒と見る見方です。情緒と見たばあいすみれの花はいいなあと思います。芭蕉もほめています。b 漱石もほめています。

ハ、なぜ、いいなあと感じるのかだれにもわかりません。ですから、すみれの花を情緒と見たばあいこの情緒は一つのII 観念です。

c わたしたちの価値判断は、ほんとうはこの情緒から来ているとわたしは思うのです。わたしが主観的なことをいっていると思われるありませんので、ほかの人たちがどういつているかを聞いてみようと思います。

ニ、情緒が一つのII 観念として価値判断の基礎になっている、というようなことに言及しているものは仏教以外にはないのです。文化・宗教を通じて仏教以外にはない。

仏教でどういつているかといいますと、実在感ですが、これは、大自然の一つの智力に由来していると説いています。この大自然とはどういうものか。

自然をふつうに見ますと単に自然が見えるだけです。しかし、仔細に見ますといちいちいかにふしぎなのです。

たとえば、かぼちゃの種です。あの種にはどういついう力が秘められているかというところ、それを土にまきますとその時期が来れば芽が出る。そして、ふしぎな生長の仕方できくくなり、秋には実がなつてそれがみつてしまつて枯れます。

あの小さな一粒の種は、やく半年後の変化までその中に秘めているのです。このようなものを人はつくることもできなければ、説明することもできません。

わたしたちは、このつくれそふしぎもないことわかりそふしぎもないことに目をふさいでいるがゆえに、すべて知っているように思いますが、仔細に見ると自然はこのようなふしぎにみちているのです。

d このふしぎまで見ることのできる人が自然を見ますと、単に自然を見ているだけではなく自然あらしめているものも同時

に見ているのだといえます。

この自然と自然あらしめているものとを合わせて大自然というのです。大は、大きいではなく、絶対という意味の形容詞なのです。

(岡潔『日本の心』による)

問一 空所Ⅰ～Ⅱに当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

18

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| ① | イ たとえば | ロ ところで | ハ なぜなら | ニ それから |
| ② | イ けれども | ロ たとえば | ハ ところが | ニ ところが |
| ③ | イ ところで | ロ それから | ハ ところが | ニ けれども |
| ④ | イ それから | ロ ところで | ハ ところが | ニ なぜなら |
| ⑤ | イ それから | ロ たとえば | ハ ところが | ニ ところで |

問二 空所Ⅰに当てはまる語として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

19

- ① 直感的 ② 主観的 ③ 感覚的 ④ 情緒的 ⑤ 色彩的

問三 波線部 (a) の説明として最も適切なものを、本文の記述に即して、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

20

- ① 自然の色彩を感じながら見ること
 ② 自然あらしめているものも同時に見ること
 ③ 自然はたしかにあると感じながら見ること
 ④ 自然の各事象を正しい知識をもって見ること
 ⑤ 自然はいいなあと感じながら見ること

問四 波線部 (b) の作品でないものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

21

- ① 「行人」 ② 「文鳥」 ③ 「明暗」 ④ 「破戒」 ⑤ 「道草」

問五 空所Ⅱに当てはまる語として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

22

- ① 先験 ② 専権 ③ 浅見 ④ 専検 ⑤ 先賢

問六 波線部(c)の理由として最も適切なものを、本文の記述に即して、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

23

- ① 情緒は、その時の自分の気持ち次第のものだから
- ② 情緒は、その時の自分の思いだけの移ろいやすいものだから
- ③ 情緒は、その時までに得た知識の上に成り立っているものだから
- ④ 情緒は、その時になにを感じなに見たか以前のものだから
- ⑤ 情緒は、その時に理性をもって得たものだから

問七 波線部(d)の説明として最も適切なものを、本文の内容に即して、次の①～⑤の中から一つ選び、マークして答えなさい。

24

- ① あらゆることに好奇心がもてる人
- ② 現前のもに知的に反応できる人
- ③ 知識が豊富な博覧強記の人
- ④ ものごとに秘められた力にまで想像力が及ぶ人
- ⑤ 人間の理解や認識を超越した力を持っている人

問題三 次の各問に答えなさい。

問一 文法的に適切でない用例を含む文を、次の①～⑦の中から二つ選び、マークして答えなさい。ただし解答の順序は問わない。

25

26

- ① 取引先から値下げ交渉について未だにはかばかしい返答を得られていない。
- ② 不祥事の汚名を返上するためには、会社のコンプライアンスを徹底させることが不可欠だ。
- ③ この刑務所の受刑者は、作業時にグレーの服を着用し集団生活を送っている。
- ④ 来年度から下級生を指導する役割を私にやらせてほしい。
- ⑤ 昨年度曲賞を受賞した話題作が早くも再演している。
- ⑥ 日本の企業社会では、社内の上下関係のみならず系列の企業間においても縦社会の色合いが出やすい。
- ⑦ 世界全体で約八億人にのぼる人々が間断なく食糧が供給されることを必要としている。

問二 (1)～(5)の傍線部(a)、(b)、(c)について、表記または言葉の使い方の方の正誤の説明として最も適切なものを、それぞれ①～⑧の中から一つずつ選び、マークして答えなさい。

27

31

- | | |
|--|-----------------|
| (1) 景気が ^a 停滞し ^b 、給与が上がらないにもかかわらず物価の ^c 上昇が続いている。 | 27 |
| ① (a) だけが誤り | ② (b) だけが誤り |
| ④ (a) と (b) が誤り | ③ (c) だけが誤り |
| ⑦ (a) と (b) と (c) が誤り | ⑥ (b) と (c) が誤り |
| | ⑧ 誤りはない |

